

参考：7つのマテリアリティ 取組みテーマ等の詳細

マテリアリティ	取組みテーマ	主な取組み	指標 (KPI)
食生活と健康への貢献	人生 100 年時代に向けた研究開発	・産官学の連携による研究の推進を通じて機能性素材の継続的な開発と健康的な食習慣に貢献	
	生活者の健康ニーズと多様化するライフスタイルへの貢献	・健康機能を有する製品ポートフォリオの拡充	・特保・機能性表示食品の売上構成比 2026 年度 30%以上 ・海外売上比率 12%以上
	製品の安全・安心品質の追求と環境負荷低減	・製品ライフサイクルを通じた品質管理と環境負荷の低減	
持続可能な国内農業への貢献	世界に通用する独自の農業モデルの進化	・茶産地育成事業の拡大と耕作放棄地の農地への転換 ・減農薬、有機栽培の技術開発とアグリテックの推進により、農業の社会環境課題解決に貢献	・茶産地育成事業 展開面積目標 2030 年度 2,800ha
環境	気候変動	・事業活動全体での CO2 排出量削減 (基準年 2018 年度対比) ・TCFD 提言に基づく分析と開示	・Scope1+2 2030 年度 50%削減 ・Scope3 2030 年度 20%削減 ・Scope1~3 2050 年カーボンニュートラル
	水資源	・生産活動における水使用量削減 (基準年 2018 年度対比)	・2030 年度 水使用量 原単位 (※) 16%削減 (※) 原単位：生産 1kl 当りの水使用量
	持続可能な容器包装	・ペットボトルに使用するリサイクル材等 (※) の使用率向上 (※) 生物由来素材含む	・リサイクル素材等使用率 2025 年度 お〜いお茶 100% 2030 年度 全ペットボトル製品 100%
	生物多様性	・環境保全型農業の推進 ・生物多様性リスクの調査	・GAP 認証の維持・運用
	廃棄物の削減/ 資源循環の推進	・食品リサイクル率の向上 ・製品廃棄の削減、茶殻を有効資源としてアップサイクル	・食品リサイクル率 伊藤園：90%以上を維持 タリーズコーヒージャパン： 2026 年度 50%以上
地域社会・コミュニティとのつながりの深化	お茶を通じたつながりの創出	・食育活動等による急須文化の伝承とコミュニティの活性化	－ (注)
	地域社会との共創	・自治体との連携による「お茶のある暮らし」プロジェクトの推進	

持続可能なサプライチェーンへの貢献	持続可能なサプライチェーンの構築	・サプライヤーとの協働による、サプライヤー関連方針に基づく社会環境課題に配慮した調達活動の推進	
多様な人財と全員活躍の推進	人権尊重の取組推進	・「伊藤園グループ人権方針」に基づく取組みの推進	－（注）
	多様な人材の育成と活躍推進	・女性管理職比率 ・障がい者雇用率	－（注）
	健康経営の推進	・『健康経営優良法人』の継続認定	
コーポレート・ガバナンス	サステナビリティ経営の推進	・サステナビリティ重要課題の取組み推進と監督機能の強化 ・ステークホルダーダイアログの実施	
	DXの推進	・デジタル化による業務改革、生産性の向上の推進	
	グループリスク管理の強化	・グループガバナンスおよびリスクマネジメント体制の再構築と管理の強化、継続的な改善	

注：現在策定中です。

指標（KPI）は随時見直し、公表していく予定です。

2022年6月1日